

松山市の皆さまへ

田中エリナ

政策提案集2026



圧倒的な
子育て環境



にぎわう
中心市街地



もっと豊かな
市民の暮らし

今こそ、新しい松山へ。

— あなたとつくる、世界に誇れる松山 —

目　次

ご挨拶 03

プロフィール 04

略歴/実績

松山の現状について 07

直面している危機/希望/なぜ市長を目指すのか？

政　策 10

三つの戦略と11のNEXT/八つの重点政策について 11

子育て 12

松山で稼げる 13

まちなか政策（JR松山駅、銀天街・大街道、etc.） 14

プロモーション/ふるさと納税/広域連携/土砂災害 17

夢政策/NEXT 20

Q＆A 23

政治姿勢 29

最後に 30





ご挨拶

今こそ、新しい松山へ

あなたとつくる、世界に誇れる松山

生まれ育った松山を、元気にしたい。

その一心で、民間で、そして市議会議員として、働いてまいりました。多くの市民の皆さまの声を聞き、市政の現実と向き合ってきたからこそ、今、強く感じています。

松山は、もっと前へ進める。

これまで築いてきたものを大切にしながら次の時代に必要な変化を起こす。私は、心から松山の可能性を信じています。豊かな自然、歴史や文化、食、温泉、そして人のあたたかさ。松山には、国内外から選ばれる魅力と可能性にあふれています。けれど今の松山のままでは、当たり前の暮らしを次世代に引き継げないかもしれない危機に直面しています。

停滞を、前進へ。
あきらめを、希望へ。

若い人たちが戻り、子どもたちが未来に希望を持てる。魅力的な仕事があり、年を重ねても安心して暮らし続けられる。そして誰もが「松山で暮らしたい」と思えるまちへ。世界に誇れる、新しい松山市へ。

新しい松山の1ページは、
あなたと、ここからはじまります。

田中エリナ

プロフィール

田中エリナ

- 1984 松山市永代町に生まれる
- 1997 番町小学校を卒業
- 2000 松山東中学校を卒業
- 2003 愛媛県立松山東高等学校を卒業
  津田塾大学（現：英語英文学科）入学
- 2007 株式会社リクルートに入社
- 2012 マーケティング会社を起業
- 2014 松山銀天街商店街振興組合 理事就任
- 2016 愛媛プロレス旗揚げ
- 2022 **松山市議会議員選挙 当選（8,836票）**
- 2023 Bリーグ理事 就任
  2社の代表権を譲渡
- 2026 **松山市議会議員選挙 当選（10,676票）**



町内のお神輿は、毎年の楽しみ！



昭和30年、祖父が銀天街で「味加久」食堂創業。



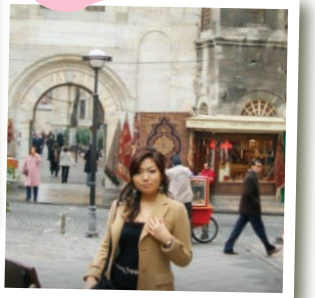
1982年、両親が雑貨店「A-one」を開業



幼いころから、お店でお手伝い！



番町小学校では児童会長に。卒業アルバムの夢は「政治家」！



学生時代は、世界を旅する



リクルートのトップ営業を経て、女性中心の会社を起業



商店街理事として、活性化に取組む



愛媛プロレスで、家族で楽しめるエンタメで地域を元気に！

実　績

松山市議会議員としての４年間

皆さまからのたくさんの応援を原動力に、
「松山はこのままではいけない」という決意で走り抜けた4年間



　私はこの４年間、未来志向と経営視点、是々非々を大切に、松山市議会議員として活動して参りました。市民の皆さまのお声を聞いた上で、議会では中心市街地の活性化、城山土砂災害への対応、ふるさと納税の活性化、女性活躍など、松山の未来に繋がるよう提案型の質問を続けています。

01 全会議登壇

一度も休まず現場の声を議会へ届け続ける

02 城山土砂災害の再検証要求

是々非々の精神で、松山の未来を正しいものに



03 ふるさと納税の活性化
04 シェアサイクル
05 民間人材登用
06 広報誌改善



実　績

対話を大切に、みんなでつくる松山の未来

政治をもっと身近に。まちが舞台、あなたが主役！





01 まちなかクリーンアクション

40回以上続く、街中の清掃活動。

02 まちづくりミーティング

あなたの困りごとを、これからの政策へ。

03 地域イベント企画開催や参加

松山市を盛り上げる地域イベントの企画＆参加。

04 ミニ対話集会

市政にご意見や提言のある皆さまとの対話。

05 講演活動

専門性を活かした伝えるチカラ。

06 松山チェンジ!対談ライブ

松山市を前へ。様々な知見や情報をライブ配信でお届け。

07 SNSの発信

顔の見える政治をお届け。

08 若者の「やりたい!」を全力で後押し

「つながりフェスタ」や「英語で環境問題を考えるイベント」など、若者の挑戦を全力でサポート。









松山が直面する危機

若い世代が減り、弱くなっている松山

人口減少、若者の流出、稼ぐ力の弱さ。
今、松山ではこの３つが連鎖しています。

人口が減っています

このままでは、
さらに減少が続きます

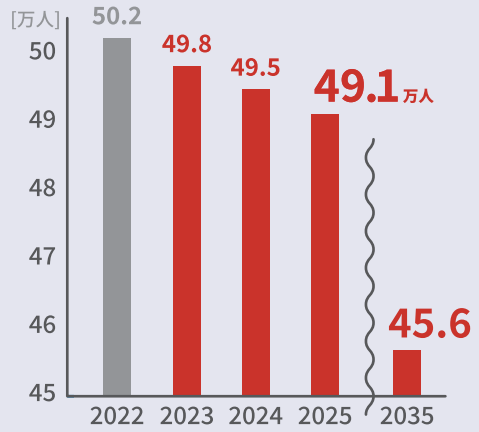
若者の流出

20代の若者の転出が顕著、
将来の担い手が減っています

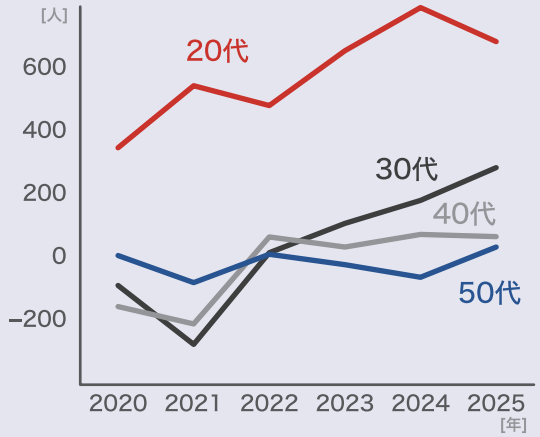
稼ぐ力が必要です

産業が第三次産業に偏り、
人口減少の影響を受けやすい

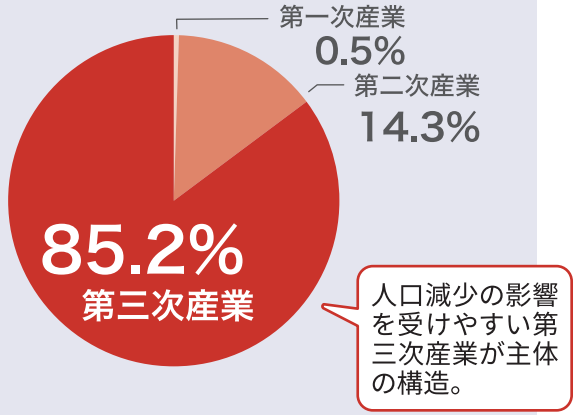
松山市の人口推移



20代の転出超過数の推移



松山市の産業構造



出典：松山市、総務省統計局、国立社会保障・人口問題研究所等の公表資料を基に当方作成
※数値は各資料を独自に集計・加工したものであり、基準日・定義・端数処理等により原資料と異なる場合があります。

未来の選択肢がどんどん狭まってきています。　だからこそ、松山は今、変わらなければなりません。

松山が直面する危機

増える支出、足りない稼ぐ力

使えるお金は限られています
だからこそ、バランスの取れた財政運営と、稼ぐ力を伸ばすことが必要です。

社会保障などに必要なお金が増える一方、
市民や企業から生まれる税収の伸びは、他都市と比べて低い水準です。

必要な支出は増加

暮らしを支える支出は、この10年で約200億円増加しています

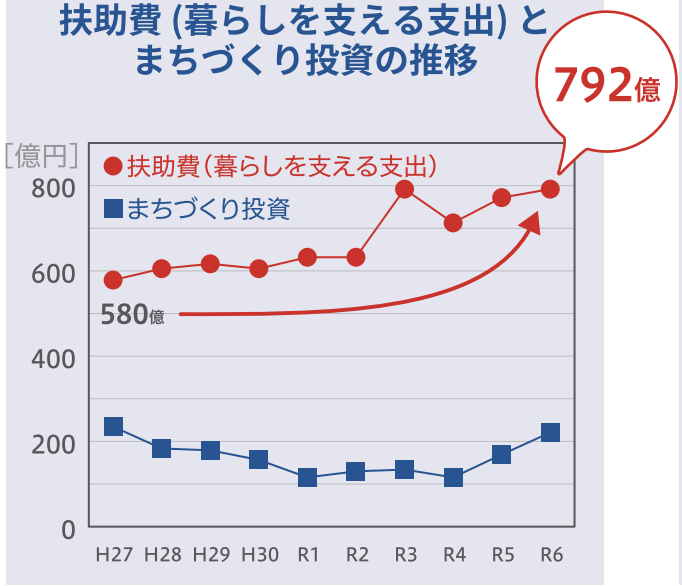
伸び悩む市民の所得

過去20年間の個人市民税の伸び率が悪いです

伸び悩む企業の力

この20年間、市民所得と同様に、企業の稼ぐ力も停滞状態

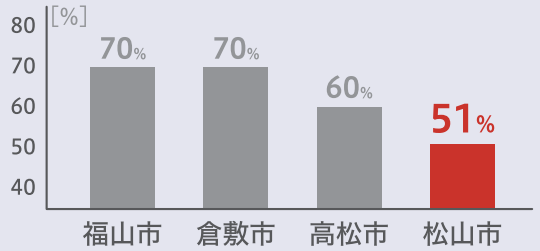
扶助費（暮らしを支える支出）とまちづくり投資の推移



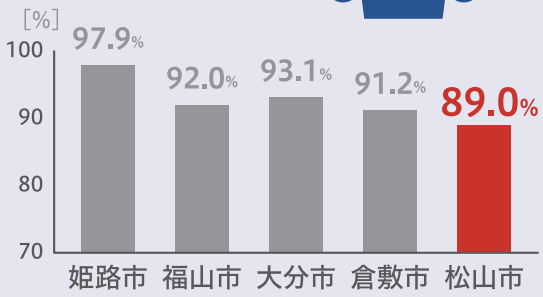
個人市民税の直近20年間の伸び率比較

令和５年の松山市民所得
265万2千円

同規模都市の宇都宮市と比べ、約130万円のマイナス。



20年間の法人市民税伸び率の比較
平成15年～令和5年



出典：総務省「令和5年度・令和6年度市町村決算カード」及び各市決算資料等を基に当方作成

支出を削るだけでは、松山は元気になりません。　稼ぐ力を伸ばし、未来に投資できる松山へ。

今こそ、松山市政の転換点

松山市を本気で変える

市長選挙への想い

私は、小さなころから銀天街で育ちました。祖父は戦後の銀天街の復興に力を尽くし、父も商店街の組合活動に奔走してきました。そして、店頭に立ち、お客さまを迎え続ける母の姿を見て育ちました。人の笑顔のために働くこと。まちの賑わいのために力を尽くすこと。それは、私にとってごく自然なことでした。

その後、東京で学び、仕事をし、国内外のさまざまな都市を見てきました。高松や福岡が大きく変わり、活気を増していく姿を目の当たりにし、「松山こそ、もっと輝けるはずだ」という思いを強くしました。

松山を活性化したい。このままではいけない。誰かが変えなくてはならない。その思いから、2022年、市議会議員選挙に挑みました。

4年間、市政の現場で市民の皆さまの声を聞き、松山の課題と向き合ってきました。今年の市議選でも再び負託をいただき、市議としてさらに経験を重ねるつもりでした。しかし、選挙を通じて耳にしたのは、松山の未来への不安や、あきらめにも似た声でした。

誰かに託すのではなく、自分が描く松山の未来を示し、その実現に責任を持ちたい。その思いが、私を市長選挙への挑戦へと動かしました。

人口減少、若い世代の流出。社会は想像以上の速さで変化しています。今、動かなければ、松山は取り残される。なんとしても、停滞を前進へ変えなければなりません。

私は、松山の可能性を信じています。このまちの魅力を磨き、つなぎ、世界へ届ける。そして、経済の活力と市民の豊かな暮らしが循環する松山をつくる。市民の皆さまとともに、松山の輝きを取り戻す。その責任と覚悟を持って、私は市長選挙へ出馬します。

住みやすいまち、松山のポテンシャル！

住みたい田舎 ベストランキング 全国1位

病院又は診療所までの距離の近さ 全国1位

通勤・通学にかかる時間の短さ 全国2位

余暇時間の長さ 全国2位

ストレス OFF

賃貸が 安い!

地域食材の手にしやすさ 全国1位

ショッピングセンターへの距離の近さ 全国1位

日本最古 道後温泉



2030年のビジョン

4年後、こんな松山を目指します

人口減少を食い止め、まちに活力を。
暮らしの豊かさにつながる6つの数字目標。



1 人口減少のスピード

半減

人口減少を食い止め、
持続可能なまちへ。

2 転出超過▶▶転入超過

1,000人/年

若い世代が戻り、
挑戦する人が増える松山へ。

3 市民所得

10%以上UP

一人ひとりの暮らしが
豊かになる松山へ。

4 観光消費額

1,000億円規模

国内外から選ばれる
観光都市、松山へ。

5 ふるさと納税

50億円

松山の魅力を全国へ発信し、
応援が集まるまちへ。

6 民間投資

500億円

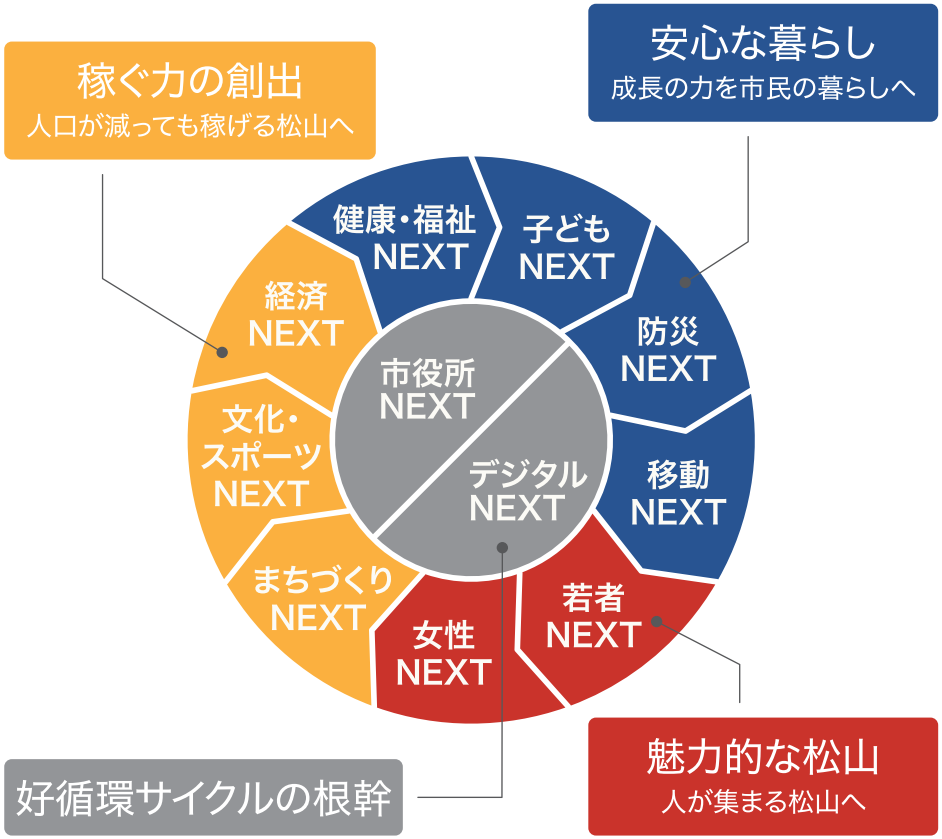
民間の力を活かし、
まちの未来を切り拓く。

政　策

三つの戦略と11のNEXT

松山を前進させる好循環サイクル

松山を変えるための最小単位である11のNEXT、それらを繋ぐことで生まれる大きな三つの戦略。この、好循環サイクルが本政策の主軸となります。



八つの重点政策

松山を動かす八つの戦略

今まさに転換点の松山市。この4年間で推し進めていくべき政策の中で、特に重点をおいた八つの政策を以下にまとめます。

01 圧倒的に、子育てしやすい松山へ
家庭だけに背負わせない。心に余裕の持てる子育てを。

02 稼げる仕事を、松山につくる
地元企業の成長、スタートアップ、企業誘致、新規事業を一体的に支援。

03 滞在したくなるJR松山駅
JR松山駅を通過する駅から集い、滞在したくなる場所へ。

04 もう一度、人が集まる銀天街・大街道へ
空き店舗ゼロの中央商店街。

05 歩きたくなる、すごしたくなる中心市街地へ
心地よいまちなかの緑とベンチ。

06 世界に届くシティプロモーション
松山や瀬戸内の食や文化を束ね、松山市を世界へ発信。

07 ふるさと納税、50億円突破
外から稼ぎ、松山の産業を育て、市民の暮らしへ還元。

08 国・県・道後平野の広域連携
松山だけで考えない。国や県、伊予市・東温市・松前町・砥部町と連携、企業誘致・交通・観光・防災を広域展開。

重点施策 01



圧倒的に
「子育てしやすい松山」へ

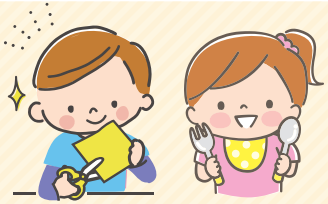
子育てを**家庭だけに背負わせない。**心に余裕をもてる子育てを。

1



0〜2歳児の
保育料を
4年間で無償化

2



病児・病後児保育の
利用料を無償化
受入枠を就任2年以内に拡大

3



産後ケアの負担軽減
受入枠を拡大

4



家事代行・ベビーシッター・
一時預かり等に使える
「子育てチケット」を創設

- **松山市児童相談所**を2029年度開設を目指し、1年目から準備
- **英語・グローバル教育：ALTを増員し、英語に触れる時間・回数を拡大**
- ケアラー支援。レスパイト（休息）の受入枠、家族相談、ヤングケアラー・きょうだい児支援
- 不登校でも「学びが止まらない」環境を整備
- 合理的配慮を進学時にも引き継ぐ仕組みを整備
- 松山版・少人数教育：「子どもを見る大人」を増やす
- 学校給食の「質と量」を守る・県内産食料自給率を上げる

重点施策 02



地元企業が育ち、「働く人の所得が上がる松山」へ。

市民所得を引き上げるため、地元企業の成長支援と戦略的な企業誘致を両輪で進めます。

地元企業への市役所からの発注率を引き上げます

中小企業のDX、販路開拓、ブランド化、新商品開発、人材育成、資金調達を一体で支援するとともに、
デジタル、クリエイティブ、高度バックオフィスなど、松山の都市特性に合った成長分野の集積を進めます。
スタートアップや起業など、挑戦を応援できる社会を目指します。
あわせて、観光、商店街、農林水産業を高付加価値化し、価格競争に頼らず稼げる地域経済をつくります。
若者や女性が松山で働きたいと思える、賃金の上がる仕事を増やします。

※高度バックオフィス：経理・人事・IT・企画など、専門性の高い企業業務

チャレンジ

売上100億円を目指す地元企業を支援

成長意欲のある地元企業に対し、経営、人材、DX、販路開拓、資金調達、海外展開などの支援を官民でつなぎます。
「100億円企業を行政がつくる」のではなく、100億円を目指して挑戦できる企業が次々に育つ土壌をつくります。
企業の成長を、所得向上、税収増へつなげます。



重点施策 03

滞在したくなる JR松山駅

駅前を「通過する場所」から松山らしいランドマークへ





※写真はイメージです

JR松山駅を、市民・観光客・子育て世帯が365日滞在する都市のリビングへ
スピード感を持って進め、進み具合を見える化します

重点施策 04

もう一度人が集まる 中央商店街

４年間で空き店舗ゼロの銀天街・大街道を目指します。





※写真（左）はイメージ、右は高松市の商店街です。

老朽化対策（建物の建て替え促進）・分割活用促進・魅力的なお店を誘致する人材を登用・イベントを支援。
本気で、中央商店街を再生します。